

ひきこもり等地域理解促進事業実施要領

1 目的

ひきこもり・不登校等の問題の解決に向けて、家族会、自助グループ又は支援団体等(以下「団体」という。)が企画する講演会・研修会等の事業について、神奈川県立青少年センター(以下「青少年センター」という。)が共催事業として実施することで、団体の自主的な取組みの活性化及びひきこもり等の問題への地域住民や若者の理解促進を図ることを目的とする。

2 対象事業

神奈川県民を対象とした事業であることとし、次のいずれかに該当するものとする。

区分① 家族会等地域団体活動促進事業

ひきこもり・不登校等困難を有する方やその家族の自助活動、また、その支援活動の促進につながるもの。
※地域住民の理解促進という当事業の目的に鑑み、団体の会員以外にも積極的に参加を促すこと。

区分② ひきこもり等地域支援団体活動促進事業

ひきこもり・不登校等の問題についての地域住民への理解促進、若者への啓発につながるもの。
※団体の会員以外の参加がほとんど期待できない事業は対象外とする。

3 対象団体

対象団体は、次に掲げる要件を全て備えていなければならない。

- (1) 神奈川県に本拠を置く、もしくは主な活動場所を持つこと。
- (2) 県立青少年センターの「支援団体整理票」により支援団体の登録をしている団体であること。
- (3) 共催事業終了後も継続的な活動が期待できること。
- (4) 営利を目的としない団体であり、政治・宗教活動が事業の内容に含まれないこと。

※「2 対象事業」のうち区分①については、家族会等、小規模な団体のみを対象とする。区分②については、団体の規模にかかわらず、ひきこもり・不登校等の問題に取り組むすべての団体を対象とする。

4 共催事業の決定

青少年センターと団体との共催により実施する事業は、次の手続きにより決定する。

- (1) 青少年センターとの共催事業の実施を希望する団体は「ひきこもり等地域理解促進事業計画書(様式1)」(以下「計画書」という。)を、青少年センター館長(以下「館長」という。)に提出する。
- (2) 館長が別に定める期限までに計画書の提出があったとき、館長は、予算の範囲内で対象事業を決定し、その結果を団体に通知する(様式2又は様式3)。

5 共催の承認を受けた団体の責務

- (1) 「神奈川県立青少年センター」との共催名義を使用し、明示すること。
- (2) チラシやホームページ等における広報の際には、「ひきこもり等地域理解促進事業」によるものである旨を明記すること。
- (3) 県機関窓口における広報用にチラシ類を100部以上、青少年センターに提供すること。※
- (4) 青少年センターホームページへの事業内容の掲載等、神奈川県が行う広報活動に協力すること。

- (5) 共催事業は、主催団体会員以外の県民の参加も可能なものとし、原則として参加費は無料とする。ただし、会場費・資料代等の実費負担はその限りではない。
- (6) 事業実施に伴う全ての業務(会場の確保、講師との調整等)は、共催の承認を受けた団体が行うものとする。
- (7) 事業の実施にあたって関係機関に対し許認可等の手続きが必要な場合は、承認を受けた者がその一切の事務を行うこと。
- (8) 事業内容に大幅な変更が生じる場合は、青少年センターと協議を行い、必要に応じて「ひきこもり等地域理解促進事業内容変更申請書(様式4)」を提出すること。
- (9) 事業終了後、原則として14日以内に「ひきこもり等地域理解促進事業 実施報告書(様式7)」を提出すること。

※事業区分①の団体については、提供部数について、別途青少年センターと協議の上決定する。

6 青少年センターの責務

- (1) 講師謝礼金の支払い(原則として講師が指定する口座への振り込みによる)業務を行う。なお、謝礼金については、青少年センターの基準により決定するが、加算する交通費については、5,000円を上限とする。
- (2) 団体より受領したチラシを、県機関等に配架する。

7 決定の変更、取消し等

- (1) 館長は、様式4を提出した団体に対して、その結果を団体に通知する。(様式5または様式6)
- (2) 館長は、共催事業として認めた者が次のいずれかに該当する場合は、共催の決定を取り消すことができる。なお、取消しに伴う損失補償及び損害賠償の責任は負わないものとする。
 - ア 共催の条件に違反したとき。
 - イ 事業の目的を逸脱する行為又は事業内容に虚偽の申請があったとき。

8 その他

この要領に定めのない事項については、館長及び団体双方の協議により決定するものとする。

附 則

この要領は、令和7年3月29日から適用する。

附 則

この要領は、令和8年3月27日から適用する。

(様式1)

年度ひきこもり等地域理解促進事業 事業計画書

令和 年 月 日

神奈川県立青少年センター館長 殿

提案者 団体名

代表者 氏名 _____

住 所 〒

電 話

次の事業計画を提案します。

事業の名称			
事業の区分	1 家族会等地域団体活動促進事業 2 ひきこもり等地域支援団体活動促進事業 (どちらかを○で囲む)		
日時			
場所	(最寄り駅)		
事業内容 ※右欄で記入しきれない場合は、別紙に記入して添付してください。	主題・アピール等		
	期待される効果・今後の団体の活動展開等		
講師氏名・所属等	氏名	所属	
	住所	(最寄り駅)	
参加呼び掛け対象		参加予定数	人
事業費見込 ※右欄で記入しきれない場合は、別紙に記入して添付してください。	・ 講師謝礼金	円	
	・ 会場費	円	
	・ チラシ等印刷代	円	
	・ 渉外費	円	
	・ その他(具体的に記入してください。)	円	
	円	
	合計		円
参加料 (注)	<input type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料 (金額	円)
主な広報先			
その他特記すべき事項			

(注) 参加料とは、会費、資料代等も含まれます。

この計画書にご記入いただいた個人情報は、共催事業承認事務以外に利用したり、第三者に提供したりすることはありません。

(様式2)

青 少 第 号
令和 年 月 日

年度ひきこもり等地域理解促進事業の共催決定について

様

神奈川県立青少年センター
館 長

令和 年 月 日付けで依頼のありました事業について、共催事業としますのでお知らせします。
なお、青少年センターが支払う講師謝礼金額は 円とします。

事業の名称	
日時	
場所	
共催条件	<ol style="list-style-type: none">1 「神奈川県立青少年センター」との共催名義を使用し、明示すること。2 チラシやホームページ等における広報の際には、「ひきこもり等地域理解促進事業」によるものである旨を明記すること。3 県機関窓口における広報用にチラシ類を 100 部以上、青少年センターに提供すること。(注1)4 青少年センターホームページへの事業内容の掲載等、神奈川県の行う広報活動に協力すること。5 共催事業は、主催団体会員以外の県民の参加も可能なものとし、原則として参加費は無料とする。ただし、会場費・資料代等の実費負担はその限りではない。6 事業実施に伴う全ての業務(会場の確保、講師との調整等)は、共催の承認を受けた団体が行うものとする。7 事業の実施にあたって関係機関に対し許認可等の手続きが必要な場合は、承認を受けた者がその一切の事務を行うこと。8 事業内容に大幅な変更が生じる場合は、青少年センターと協議を行い、必要に応じて「ひきこもり等地域理解促進事業内容変更申請書(様式4)」を提出すること。9 事業終了後、原則として14日以内に「ひきこもり等地域理解促進事業 実施報告書(様式7)」を提出すること。 <p>【特記事項】(注2)</p>

(注)1 家族会等地域団体活動促進事業については、別途青少年センターと協議すること。

2 審査の過程で事業内容について意見があった場合には、特記事項に記載する。

(様式3)

青 少 第 号
令和 年 月 日

年度ひきこもり等地域理解促進事業 について

様

神奈川県立青少年センター
館 長

先に提案のありました次の事業については、当センターとの共催事業の対象外となりましたのでお知らせします。

事業の名称	
日時	
理由	

(様式4)

年度ひきこもり等地域理解促進事業内容変更申請書

令和 年 月 日

神奈川県立青少年センター館長 殿

申込者 団体名
代表者氏名 _____

住 所

電 話

令和 年 月 日付けで承認がありました共催事業について、次のとおり内容の変更を申請します。

承認申請書の内容	事業の名称	
	日 時	年 月 日(曜日) : ~ :
	場 所	
変更する内容	変更項目	<input type="checkbox"/> 日時 <input type="checkbox"/> 場所 <input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 講師氏名・所属等 <input type="checkbox"/> 参加料の有無・金額 <input type="checkbox"/> その他()
	変更前	
	変更後	
変更の理由		

※ この申請書にご記入いただいた個人情報は、共催事業承認事務以外に利用したり、第三者に提供することはありません。

(様式5)

青 少 第 号
令和 年 月 日

年度ひきこもり等地域理解促進事業 内容変更について

様

神奈川県立青少年センター
館 長

令和 年 月 日付けで申請のありました次の事業内容の変更を承認します。
なお、青少年センターが支払う講師謝礼金額は 円に変更します。

事業の名称	
変更項目	
共催条件	<ol style="list-style-type: none">1 「神奈川県立青少年センター」との共催名義を使用し、明示すること。2 チラシやホームページ等における広報の際には、「ひきこもり等地域理解促進事業」によるものである旨を明記すること。3 県機関窓口における広報用にチラシ類を 100 部以上、青少年センターに提供すること。(注)4 青少年センターホームページへの事業内容の掲載等、神奈川県の行う広報活動に協力すること。5 共催事業は、主催団体会員以外の県民の参加も可能なものとし、原則として参加費は無料とする。ただし、会場費・資料代等の実費負担はその限りではない。6 事業実施に伴う全ての業務(会場の確保、講師との調整等)は、共催の承認を受けた団体が行うものとする。7 事業の実施にあたって関係機関に対し許認可等の手続きが必要な場合は、承認を受けた者がその一切の事務を行うこと。8 事業内容に大幅な変更が生じる場合は、青少年センターと協議を行い、必要に応じて「ひきこもり等地域理解促進事業内容変更申請書(様式4)」を提出すること。9 事業終了後、原則として14日以内に「ひきこもり等地域理解促進事業 実施報告書(様式7)」を提出すること。

(注) 家族会等地域団体活動促進事業については、別途青少年センターと協議すること。

(様式6)

青 少 第 号
令和 年 月 日

年度ひきこもり等地域理解促進事業内容変更不承認について

様

神奈川県立青少年センター
館長

年 月 日付けで申請のありました次の事業の内容変更については、承認しないこととしましたのでお知らせします。

事業の名称	
変更項目	
理由	

(様式7)

年度ひきこもり等地域理解促進事業 実施報告書

令和 年 月 日

神奈川県立青少年センター館長 殿

申込者 団体名
代表者氏名 _____

住 所

電 話

神奈川県立青少年センターとの共催事業が終了しましたので、実施結果を報告します。

事業の名称			
日時	年 月 日 (曜日)	:	~ :
場所			
事業の目的			
事業の内容			
	講師氏名		
参加者対象		参加人数	人
参加料(注)	<input type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料 (金額 円)	
事業の具体的な効果や成果			
事業の今後の展望			
事業の実施体制	総括責任者氏名		
	個別事業の責任者氏名	(総括責任者と異なる場合のみ記入)	

(注) 参加料を有料にした場合は、収支報告書を添付してください。その他プログラム等の資料があれば添付してください。

※ この申請書にご記入いただいた個人情報は、共催事業承認事務以外に利用したり、第三者に提供することはありません。

(*センター職員が出席しなかった場合は、FAX または メールで提出してもらい、履行確認)

年度「ひきこもり等地域理解促進事業」実施状況速報

令和 年 月 日

神奈川県立青少年センター館長 殿

申込者 団体名
代表者氏名 _____

住 所
電 話

神奈川県立青少年センターとの共催事業が、事業計画書のとおり終了したことを報告します。

事業の名称			
日時	年 月 日(曜日)	:	~ :
場所			
事業の内容			
	講師氏名		
参加者対象		参加人数	人
参加料	<input type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料 (金額 円)	